

中期的重点目標が決まりました

本会は、平成21年から本格的に活動を再開し、事務局体制の整備を整えてまいりました。本会の目的は会則に掲げられているとおりですが、同窓会活動を行うにあたり、より具体的な指針が必要と考え、理事会において中期的重点目標を設定いたしました。当面の間、本会はこの重点目標を達成するために活動を計画、実施してまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

東北文化学園大学同窓会の目的(会則第1条より抜粋)

本会は、会員相互の親睦を図るとともに、東北文化学園大学(以下「本学」という。)の発展に寄与することを目的とする。

東北文化学園大学同窓会中期的重点目標(平成21年10月25日開催理事会にて決定)

1. 同窓会の財政基盤の確立

本会の継続的かつ安定した運営のためには財政基盤の確立が不可欠であり、現在徴収を停止している同窓会費徴収業務の再開を含め、財政基盤の安定化を進めることが必要である。

2. 同窓会の存在と活動を周知するための広報活動の強化

会員からの会費徴収は、本会の事業計画を広く周知した上で、その資金の用途について会員へ報告を行う義務が生じる。また、在校生会員にも本会の活動を広報することで、卒業後の同窓会活動への理解が深まる。以上から、広報活動は同窓会が継続的に存続するために必要な活動であるが、その方法は①より多くの会員へ②安価な方法で③より簡便な方法が望ましく、その方法としてITの活用を検討するものである。

3. 同窓会会員のニーズに沿った同窓会活動の強化

本会は、会員相互の親睦を図るとともに、東北文化学園大学の発展に寄与することを目的としており、様々な同窓会活動の強化を検討する上で、同窓会会員のニーズに沿っているかを常に意識する必要がある。

4. 大学、保護者、同窓会の「三位一体」による絆の強化

本会は、東北文化学園大学を卒業した学生を中心に構成されており、大学の発展に寄与することを目的としている。大学発展の有効的な貢献のため、本会は、大学及び保護者と有機的な連携を図ることが必要である。

在校生からのメッセージ

来年もお待ちしています

文化学園祭実行委員会 副委員長 山本 和之

(保健福祉学科保健福祉専攻 3年)

天候にも恵まれた、10月24、25日「文化学園祭2009」は、例年を大きく上回る来場者を迎え、開催されました。今年のテーマは「華陽〜はなび〜」。これは学園祭を花火に見立て、一人ひとりの色を足していくことで、華やかで、太陽のような輝きのある学園祭を作りたいと考えたからです。例年に比べて、実行委員の人数も少なく、一人ひとりの負担も大きくなりましたが、スタッフ一人ひとりの努力が実り、学内を華やかな装飾で彩ることができ、また、多くのサークルや団体に参加してもらうことができました。

今年は、特設ステージをこれまでの体育館前から、中庭まで見渡せる一号館前に移しました。そのステージで行った芸能人企画は、いま句なお笑い芸人(ガリットチュウ、ハイキングウォーキング、フルーツポンチ)をお願いしたこともあり、中庭を埋め尽くすほどの多くの来場者や在校生で賑わいました。また、昨年からはじめた日曜夜の花火大会も、質と打上数をバージョンアップし、華やかで迫力のあるフィナーレを飾るに相応しい企画となりました。日曜日の夕方にも関わらず、多くの方々に見ていただくことが出来ました。

学園祭両日は、卒業生の先輩方にも多く来場いただき、実行委員を始め、盛り上げようと頑張る私たちが在校生にねぎらいの言葉をいただきました。楽しそうに過ごされている先輩方を見て、努力が実を結んだ気がしました。

来年もまた、文化学園祭にいる時間を楽しくもらえるよう、実行委員一同アイデアを出し合い、先輩方に足を運んでいただけるような学園祭にしたいと思います。先輩方には、学園祭などの機会を通じて学園にお越しいただき、在校生である私たちと一緒に学園を盛り上げていただきたいと思います。



住所未確定者の情報をお寄せください

本会では、同窓会員名簿の整備のため、平成21年7月及び10月に、卒業生の皆様へ名簿整備のお願いを送付させていただきましたが、住所の確認が取れず、ご案内ができていない方がいらっしゃいます。10月にお送りした「住所未確認者一覧」の方について、連絡先の判る方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までお知らせください。

同窓会費の徴収再開について

休眠状態だった本会も、大学開学10周年を期して、活動を再開いたしました。これに合わせて停止していた会費の徴収も、今年度から再開することとなりましたので、会員の皆様には、ご理解・ご協力を賜りますよう、ここにお申し上げます。なお、会費は遡及して納入いただくこととなります。対象(右記参照)の皆様は同封の会費納入のご案内をご確認ください。

会費徴収対象者	
卒業年月	
H18.3(4期生)	
H19.3(5期生)	
H20.3(6期生)	
H21.3(7期生)	
H22.3(8期生)	
	H21.12.1現在



同窓会副会長 豊原 亮子(旧姓 高橋)

平成15年 大学・リハビリテーション学科
理学療法専攻卒

大学を卒業して、7年が過ぎました。体育館前の屋根の下で友人たちと過ごしたのが私のTBGUの思い出です。講義に言及しないのがご愛嬌。先日、同窓会の役員会議で何年かぶりに校舎に入ったら迷ってしまいました。ちょうど大学祭の日でしたから、在校生に聞こえようと思ったのですが楽しくて落ち着かない雰囲気をもった彼らが眩しくて声をかけそびれてしまいました。結局ちょっとオジサンになった同期の友人に助けて貰った

わけですが。

思い出の場所が変わっていくことは寂しいのと一緒に、今いる人の溢れるエネルギーを感じずにはられません。寂しくても、先輩としては嬉しい限りです。前に進むためにはエネルギーが必要ですから。

さて、開学10周年を迎えて開店休業中だった同窓会は営業を再開しました。やらなければならぬことは山積みですが、大学の役に立てると思うと嬉しいです。前に進むエネルギーは若人に、それを支える力強さは先輩が。そんな気持ちで同窓会役員をやらせて貰っています。

卒業して、仕事に就き、結婚をして、子供も産んで、変わったこともあるけれど夏の眩しい光の下、友人と過ごした体育館前の思い出は色褪せずに残っています。みんな、元気ですか?

TBG 同窓会報

TBG Alumni Association News



東北文化学園大学

Contents

学園を振り返る～短大・大学開学編～ …… 2
 学園近況(看護学科新設) …… 3
 定期総会報告・祝賀会開催報告 …… 4
 総会議事及び審議結果報告
 過年度決算報告・平成21年度収支予算書
 活躍する卒業生 …… 6
 卒業生団体活動紹介 …… 7
 同窓会役員(幹事)募集のお知らせ
 同窓会活動
 中期重点目標 …… 8
 在校生からのメッセージ
 住所未確定者の情報提供のお願い
 会費納入のお願い
 副会長挨拶

Vol.2

2009.12

東北文化学園大学同窓会

学園を振り返る

～短大・大学開学。今の国見を創るもの～

1993年(平成5年)、東北初の理工系カレッジとして誕生した東北科学技術短期大学(略称:科技短)。

その開学から東北文化学園大学へと発展を遂げた時期をご存じの方々にお集まりいただき、当時を振り返っていただきました。



参加者

- 毛利 平先生** 東北文化学園大学初代学長(大学名誉学長)
- 香野 俊一先生** 東北科学技術短期大学情報工学科教授(東北文化学園大学科学技術学部知能情報システム学科教授)
- 高橋 秀之さん** H7 短大・情報工学科卒(東北学院大学土樋情報処理センター勤務)
- 荒山 直子さん** H15 大学・保健福祉学科卒、大学院修了(医療福祉学部保健福祉学科助手)

- 神山 利美さん(旧姓:松島)** H15 大学・リハビリテーション学科作業療法学専攻卒(宮城県立精神医療センター勤務)
- 熊田 健一さん** H15 大学・総合政策学科卒(法人事務局企画調整課勤務)
- 稲毛 由紀子さん** 短大事務局教務課勤務(法人事務局総務部人事課係長)
- 馬場 健二さん** 短大事務局庶務課勤務(専門学校 学校事務局庶務課係長)
※カッコ内は現在の勤務先・職位等

■何ごとも“初めてづくし”の苦勞

香野 東北科学技術短期大学は情報工学科、建築設備環境学科において、国際化・情報化・個性化社会にふさわしい中堅技術者、しかも地元で活躍する人材の育成を使命として誕生しました。男女共学で東北初の理工系短期大学ということで注目されましたが、高橋君はどんな理由でこの学校を選んだのですか。

高橋 私の場合は情報系の知識を身につけて早く社会に出たかったので、理工系短大が誕生することを高校の先生に聞いたとき、「希望がかなう学校を見つけた」と思いました。また、一期生であることも魅力でした。

香野 確かに、自分たちで学風をつくらうという意欲的な学生が多かったですね。

稲毛 当時、私は教務課にいましたが、初めてのことばかりで試行錯誤の繰り返しでした。反面、学生数が約三百人と少なかったため、一人ひとりの顔をすべて把握することができたんですね。学生さんたちにも気軽に窓口に来てもらえるような、アットホームな雰囲気でしたが、



香野 俊一先生

当時は土曜日まで授業があり、学生さんたちは遊ぶ時間がなかったのではないかと思います。

高橋 そうですね。特に2年のときは卒業研究に追われていましたので。でも大変な研究や実験を経験したことで、仕事の進め方の基本であるPDCAサイクルが自然に身についていたことが卒業してからわかりました。



高橋 秀之さん

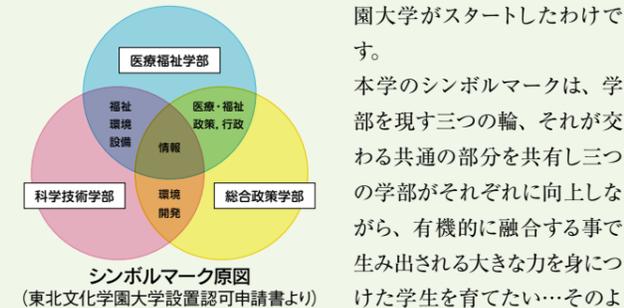
馬場 私は短大の庶務課に2年ほどおりましたが、配属になったときは大学に改組転換することが決まっていました。草創期に丸となって新体制づくりに取り組んでいる姿を拝見できなかったのが残念です。

■短大から四年制大学への道のり

毛利 四年制大学に改組転換するまでには紆余曲折がありました。最初のリハ実習病院設置計画から大学設置に変更になったのは1995年夏、翌年2月にはじめて文部省に科学技術、医療福祉の2学部設置の打診、その後、総合を加える3学部に変更。勿論教員は一人もいないし、大学設置のお役所仕事に堪える事務員もほとんどいない状況で大変でした。教員集めに当時の西澤東北大総長や、慶応の加藤 寛先生らの紹介、応援を受けて日本全国、アメリカまで教員探しに飛び回りました。やっと膨大な申請書類をまとめて申請を提出したのが97年夏、98年暮れに認可が下りて99年4月に東北文化学園大学がスタートしたわけです。



毛利 平先生



本学のシンボルマークは、学部を現す三つの輪、それが交わる共通の部分共有し三つの学部がそれぞれに向上しながら、有機的に融合する事で生み出される大きな力を身につけた学生を育てたい…そのよ

うな思いを込めて私がコンパスで描き、確か稲毛さんにコンピューターに取り込んでもらって原因とし、数々のロゴデザインを手掛けられている馬場雄二先生に制作していただいたものなんです。

香野 荒山さんは、そうやって誕生した大学と大学院の一期生だそうですね。

荒山 はい。私は介護福祉士と社会福祉士の国家資格を同時に取得したかったので、本学に進学しました。当時、私が調べた限りでは、二つを同時に学べる四年制大学は本学だけでした。

毛利 二つの資格を取得できるのが、保健福祉学科の大きな特徴でもありましたからね。

荒山 正直、講義や実習が多く、遊ぶ時間は少なかったですね。神山さんはどうでしたか。

神山 私は剣道部だったのですが、サークルの仲間たちと車で海や山に出かけたりしていましたよ(笑)。それでも作業療法士になるという夢をかなえることができ、現在は子育てと両立しながら充実した毎日を送っています。

毛利 皆さんも一期生だから、苦勞したこともあったでしょう。

荒山 何をしても前例がありませんでしたし、先輩から国家試験のアドバイスをいただくといったこともできませんでしたので、その点では苦勞しました。

神山 逆に一期生でよかったと思うこともあります。自分たちでサークルをつくったり、イベントを企画したり、その中で友人たちと深い絆を育むことができました。そもそも剣道部を立ち上げたのは、熊田さんですよ。

熊田 小さい頃から剣道をしていたものですから、大学でサークルをつくったんです。その流れで運動部長も務めることになり、いろいろな学内イベントの企画を経験しま



神山 利美さん



荒山 直子さん

した。学生課の方たちに相談しながら進めるうちに、将来は大学の職員になりたいという希望を持つようになったのも、一期生だったからこそかもしれません。

香野 イベントといえば、バーベキューパーティは毛利先生が始められたそうですね。

毛利 地元を遠く離れてやって来た学生たちに元気になってもらいたいと思い、「学長と語る会」として、バーベキューをしたのが始まりなんです。いまは朝食会に形を変えましたが、またいつか、青空の下で学生諸君とにぎやかな時間を楽しみたいですね。

熊田 剣道七段の毛利先生とはサークルでお話する機会がありましたので、他の学生に先生と話す機会を譲って、後ろの方から見ていました。先生はモチモチでしたよ(笑)。



熊田 健一さん

■卒業生の皆さんへのメッセージ

毛利 まずは健康であって欲しいと思います。それから以前、問題が生じたことがありましたが、教学が悪かったわけではなく、教員も学生も一丸となって懸命に大学存続のために努力しました。決して卑下することはないのです。自分たちの大学に誇りを持って欲しいということを伝えたいですね。

香野 私は「継続は力なり」と思っています。しかし新しいことを始めることもまた、決して悪いことではありません。そのときには、バックボーンにある様々な情報を把握してから決断して欲しいのです。そのためにも“常に勉強すること”を忘れないでください。

(2009年11月30日 大学5号館応接室にて)



次号では、順調に発展を遂げる大学をご紹介します。

学園近況

医療福祉学部「看護学科」

新学科設置準備室 堀米 美智枝 (教員就任予定)

平成22年度より本学医療福祉学部「看護学科」が新設されます。昨今、看護師に対し、社会の中で求められる水準は高くなり、4年間の大学教育の中で、知識・技術・態度や研究能力を兼ね備えた看護師の育成という社会の潮流に乗った新設です。本学科では、診療の補助や日常のケア、生活指導技術を兼ね備え、高度化・複雑化・多様化する医療に適応できる質の高い看護実践能力のある人材を養成することを目指します。

医療機能の細分化と専門性の向上が図られる中、医療現場においては、尚一層の安全の確保が求められています。正確・確実な看護実践及びメディカルスタッフの緻密な連携・協働により、患者や療養者のQuality of Lifeを高める支援が必要です。本学は、在



堀米先生(中央)と準備室スタッフ 成沢先生(左)・田中先生(右)

学中にメディカルスタッフの役割や協働の必要性を学べる恵まれた学習環境にあります。さらに、総合大学の利点を活かし、他の学問分野の知見を得ながら学習活動や研究活動を行える環境でもあります。

卒業時には、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られ、合格の後、看護師・保健師として保健・医療・福祉の現場で活躍することになります。優秀な看護学科の卒業生を社会に送り出し、そして本学同窓会の一員として誇りをもって看護の役割を果たす人材を育成していきたいと思っております。同窓会の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

定期総会報告・祝賀会開催報告



高坂知節東北文化学園大学学長

東北文化学園大学同窓会総会が、2009年8月9日(日)16:30からホテルメトロポリタン仙台(仙台市青葉区)「星雲の間」で開催されました。

議事に先立ち、堀江裕宗会長並びに高坂知節顧問(東北文化学園大学学長)から挨拶があり、高坂学長からは、大学の発展には同窓会の協力が不可欠であり、本会に寄せる期待が大きいとお言葉をいただきました。また、グループ校の東北文化学園専門学校を含む、本校の30年に亘る軌跡を写真で振り返るDVDを視聴し、これまでの学園の歩みを振り返りました。

その後、堀江裕宗会長の議事により、同窓会設立から昨年度までの事業報告や過年度決算報告、今年度の事業計画と収支予算、役員を選任について審議を行い、原案どおり承認されました(議事及び審議結果は下記参照)。



豊原副会長(左)と高橋副会長(右)

最後に、志賀野桂一監事(東北文化学園大学総合政策学部教授)から、同

窓会設立総会后、初めて開催された総会であり、今後の同窓会活動に期待するとともに多くの同窓会員の協力を期待すると閉会の挨拶をいただきました。

卒業生の母校に寄せる想いと、大学の同窓会に対する期待を改めて実感した総会となりました。

また、同日、東北文化学園大学創立10周年・東北文化学園専門学校創立30周年記念式典及び記念祝賀会が同じくホテルメトロポリタン仙台「千代の間」で開催されました。会場には、同窓会総会に参加できなかった卒業生も多く訪れ、久しぶりに恩師や友人との再会を喜ぶ姿が各所で見られました。祝賀会は、大学吹奏楽部と手話サークルによる学園歌演奏で開会し、多くの来賓の皆様からの祝辞につづき、卒業生である高橋直樹さん(保健福祉学科・5期生)によるピアノ演奏と専門学校在校生の大場里香さん(医療秘書科2年)による津軽三味線演奏も行われ、卒業生と在校生による演奏で彩られた、華やかな会となりました。

歓談の時間はあっという間に過ぎ、時間を延長しても足りないほどの盛況さで、これまでの着実な歴史の積み重ねを感じ、また、これからの発展を予感させる素晴らしい祝賀会となりました。(事務局)



定期総会議事及び審議結果

第1号議案 過年度事業報告について

高橋秀之副会長から、過年度事業報告及び現在の会員数報告が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。特に、以下の内容が補足説明された。

- ①会費徴収は、民事再生手続きの関係上、一時停止していること
- ②平成20年度理事会において、名簿整備、会報作成、事務局開設を決定したこと

第2号議案 過年度決算報告並びに監査報告について

豊原亮子副会長から、過年度決算報告が行われ、続いて、阿部光伸事務局次長から、同窓会費入出金記録について説明が行われた。また、志賀野桂一監事から、平成15年度から平成20年度までの監査報告を行い、適正である旨が報告され、審議の結果、原案どおり承認された。また、次の事項について説明がなされた。

- ①民事再生手続終結を迎え(平成20年1月28日)、今後、会費の徴収を再開することを理事会等にて審議予定であること

第3号議案 平成21年度事業計画(案)について

高橋秀之副会長から、平成21年度事業計画案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。また、次の事項について説明がなされた。

- ①同窓会会則を改正すること
- ②役員会を開催すること

第4号議案 平成21年度収支予算(案)について

豊原亮子副会長から、平成21年度事業計画案について説明があり、収支予算(案)に誤りがあり、口頭にて下記のとおり訂正が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

科目	誤	正
支出の部 B-3-2) 会議費支出-交通費-理事会 予算額	20,000	250,000
支出の部 C-5 事務費支出-研修費 差引増減		100,000

第5号議案 理事・役員を選任について

高橋秀之副会長から、資料5に基づき、各卒年学科毎の幹事選出について提案があり、審議の結果、同窓生である教職員から幹事を選出し、該当する方がいない卒年学科に関しては、学科長に選出を依頼することとした。

平成21年度 東北文化学園大学同窓会事業計画(案)

- 会報及び会員名簿の作成
 - 同窓会会員名簿の整備及び同窓会報(第1号)発行
 - 事業期間 平成21年3月から平成21年12月まで
名簿整備調査:平成21年7月(同窓会報同封)開始
 - 調査項目 氏名、氏名かな、現住所、電話番号、実家住所、実家電話番号、勤務先名、勤務先電話番号
 - 業務委託先 株式会社 廣済堂(名簿整備及び同窓会報制作)
- 講演会、懇談会等の開催
 - 開学10周年記念行事支援
 - 事業日時 平成21年8月9日(日)
 - 支援内容 記念行事支援費補助(沿革スライド制作費、記念演奏者謝金、演奏準備費) 祝賀会運営費補助(同窓会参加費相当分)
- その他本会の目的を達成するために必要な事業
 - 同窓会会則の改正
- 会議及び監査
 - 理事会

平成21年5月23日(土)	第2回理事会(同窓会報、同窓会名簿、同窓会会則など)
平成21年7月4日(土)	第3回理事会(同窓会報、同窓会名簿、同窓会会則など)
平成21年8月9日(日)	第4回理事会(総会運営など)
平成21年10月	第5回理事会(同窓会名簿、会則改正など)
平成22年2月	第6回理事会(会則改正、次年度計画など)
 - 役員会

平成21年10月	第1回役員会(同窓会名簿、会則改正など)
平成22年2月	第2回役員会(会則改正、次年度計画など)
 - 総会

平成21年8月9日(日)	年次総会(過年度事業報告、過年度決算報告並びに監査報告、平成21年度事業計画案、平成21年度収支予算案、理事・役員を選任について)
--------------	---
 - 会計監査

平成21年7月15日(水)及び平成21年7月22日(水)	過年度会計監査(平成15年度～平成20年度)
平成22年4月	平成21年度会計監査

東北文化学園大学同窓会 過年度決算書

平成15年度(第1期)～平成20年度(第6期)

		(単位:円)					
		第1期 H15年度	第2期 H16年度	第3期 H17年度	第4期 H18年度	第5期 H19年度	第6期 H20年度
収入の部		金額	金額	金額	金額	金額	金額
A	会費収入	8,087,288	7,115,000	2,560,000	0	15,000	0
1	入会金 (@ 5,000円)	1,555,000	4,950,000	2,530,000	0	5,000	0
2	終身会費(@10,000円)	3,110,000	2,165,000	30,000	0	10,000	0
3	東北科学技術短期大学 同窓会 継承金	3,422,288					
B	寄付金収入	0	0	0	0	0	0
C	その他の収入	10	81	60	9,437	27,520	21,928
	預金利息	10	81	60	9,437	27,520	21,928
D	前年度繰越金	0	8,009,283	14,867,595	17,227,147	17,236,584	17,279,104
収入合計		8,087,298	15,124,364	17,427,655	17,236,584	17,279,104	17,301,032

		金額	金額	金額	金額	金額	金額
A	事業費	0	144,525	0	0	0	0
1	H16 ホームカミングディ案内	0	61,725	0	0	0	0
2	H16 退職教員後援会案内	0	82,800	0	0	0	0
B	会議費	0	0	0	0	0	91,233
	理事会費用	0	0	0	0	0	91,233
C	事務費	78,015	112,244	200,508	0	0	0
1	通信費	0	0	125,120	0	0	0
2	印刷費	42,000	21,789	72,238	0	0	0
3	振込手数料等	1,155	2,625	3,150	0	0	0
4	H15 会長印刷制作費	34,860	0	0	0	0	0
5	H16 再生関係通知等	0	87,830	0	0	0	0
D	支出合計	78,015	256,769	200,508	0	0	91,233
E	次年度繰越金	8,009,283	14,867,595	17,227,147	17,236,584	17,279,104	17,209,799
合計		8,087,298	15,124,364	17,427,655	17,236,584	17,279,104	17,301,032

		残高	残高	残高	残高	残高	残高
A	普通預金	8,009,283	14,867,595	17,227,147	17,236,584	17,279,104	17,158,152
B	仮払金	0	0	0	0	0	(注1) 98,020
資産の部合計		8,009,283	14,867,595	17,227,147	17,236,584	17,279,104	17,256,172

		残高	残高	残高	残高	残高	残高
A	未払金	0	0	0	0	0	(注2) 46,373
B	次年度繰越金(E)	8,009,283	14,867,595	17,227,147	17,236,584	17,279,104	17,209,799
負債の部合計		8,009,283	14,867,595	17,227,147	17,236,584	17,279,104	17,256,172

(※1)仮払金:第1回理事会(平成21年3月28日開催)用仮払金として現金化していたもの。4月に精算を行った。
(※2)未払金:第1回理事会(平成21年3月28日開催)会場費を20年度決算書に計上したものを。4月に精算を行った。

平成21年度 東北文化学園大学 同窓会収支予算書

第7期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

		(単位:円)			
収入の部		予算額	前年度予算額	差引増減	概要
A	会費収入	0		0	
1	入会金	0		0	
2	終身会費	0		0	
B	寄付金収入	0		0	
C	その他の収入	20,201	20,201		
1	預金利息	20,201	20,201		仙台銀行中山支店普通預金
2	その他	0	0		
D	前年度繰越金	17,209,799	17,209,799		
収入計		17,230,000	17,230,000		

		(単位:円)			
支出の部		予算額	前年度予算額	差引増減	概要
A	事業費支出	3,200,000	3,200,000		
1	会報作成費	0	0		
2	会員名簿作成費	2,900,000	2,900,000		会報作成費含む
3	講演会開催費	0	0		
4	懇談会開催費	0	0		
5	周年行事支援費	300,000	300,000		同窓会員60名分
B	会議費支出	907,640	907,640		
1	通信費	17,640	17,640		
	1)総会	0	0		名簿調査に同封のため支出なし
	2)理事会	12,600	12,600		開催調整・案内 @80*9通*5回 議事要録送付 @200*9通*5回
	3)役員会	5,040	5,040		開催調整・案内 @80*9通*2回 議事要録送付 @200*9通*2回
2	会場費	420,000	420,000		
	1)総会	70,000	70,000		1回開催
	2)理事会	250,000	250,000		@50,000円*5回
	3)役員会	100,000	100,000		@50,000円*2回
3	交通費	460,000	460,000		
	1)総会	110,000	110,000		1回
	2)理事会	250,000	250,000		@50,000円*5回(うち1回は総会同日開催)
	3)役員会	100,000	100,000		@50,000円*2回
4	雑費	10,000	10,000		会場費振込手数料、他
C	事務費支出	3,003,240	3,003,240		
1	消耗品費	26,000	26,000		文房具、PC一式、他
2	通信・運搬費	4,000	4,000		宅急便、他
3	印刷費	40,000	40,000		同窓会事務局封筒、他
4	旅費・交通費	50,000	50,000		セミナー参加に掛かる交通費、宿泊費、等
5	研修費	100,000	100,000		同窓会運営に関するセミナー参加費、等
6	人材派遣費	2,703,000	2,703,000		H21年4月～8月(22週) 1,122,000円 H21年9月～12月(18週) 918,000円 H22年1月～3月(13週) 663,000円
7	雑費	50,000	50,000		電話回線開通作業費、他
8	振込手数料	30,240	30,240		@840円*36回
D	その他支出	0	0		
	当期支出計	7,110,880	7,110,880		
E	予備費	10,119,120	10,119,120		
支出合計		17,230,000	17,230,000		

※前年度予算額未設定のため、本年度予算書該当部分を空白で記載

活躍する卒業生

「昔の教科書で自分のルーツを再確認」

平成12年 短大・建築設備環境学科卒業
株式会社ジェス診断設計
設計部 係長 **力 博文**

2000年3月卒業なので、早いもので卒業から9年。在学中の2年間は今思えばあっという間で、試験の度に友人と集まって徹夜していたり、研究室に引き籠もって血眼になってデータ分析をしたり、今ではいい思い出です。



OFFICEにて

今でも出張などで仙台へ行く機会があれば都度キャンパスへ伺い、須藤先生を始め、お世話になった先生方の研究室へ伺っています。(いつも突然でスママセン)

卒業後は本拠地を東京へ移し、(株)ジェス診断設計に入社。内視鏡やX線などを使用した給排水設備の劣化診断調査やマンション給排水設備の改修工事設計・工事監理などを主な業務とし、(財)マンション管理センターや(財)ベターリビング、UR都市機構などの調査研究活動、雑誌や新聞など業界紙の原稿執筆もを行っています。

色々な仕事をしていますが、仕事の殆どはマンションの改修工事設計。築20年～40年の民間分譲マンションで、古い図面と現地を照らし合わせながら建設当時の技術要素や設計思想を紐解き、工法・工期・コスト・居住者の生活支障などの比較検討を重ね、建物に合わせた最善の改修方法を導き出し、居住者の皆さんの合意を得て工事を目指すというものです。そのためには「昔の技術を知らなければ」と、配管材料や給排水システムの変遷はひたすら調べましたね。興味を持ったものを自分が納得行くまで調べ尽くすという自分の性に合っていたのか…同世代が知らないような知識は身に付きました。

実は、在学中に使っていた教科書で調べものをする事が多いのですが、蛍光ペンの塗ってある所を今見ると「本当にいい授業を受けていたんだなあ」と思います。そういう瞬間は懐かしくもあり、今の自分のルーツは東北科学技術短大なんだ。と実感するというか、再確認する時でもあります。

●「活躍する卒業生」寄稿者募集●

本会では、本コーナーにご寄稿いただける卒業生を募集しております。在学中の思い出や近況を、形にしてみませんか？自薦、他薦は問いません。興味のある方は同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 東北文化学園大学同窓会事務局
電話 022-233-6194 (直通)
メール alumni@office.tbgu.ac.jp

「挑戦することの面白さ」

平成19年 大学・保健福祉学科保健福祉専攻卒業
ブルデンシャル生命保険株式会社
高橋 直樹

東北文化学園大学創立10周年おめでとうございます。また、記念祝賀会での席で演奏させていただきありがとうございました。

障害を持っている私は、人の役に立つ仕事につきたいと思い、保健福祉学科に入学いたしました。入学したその年に大学存続にかかわる事案が明らかになり、混乱期の中での講義で、私も戸惑いがありました。このときだから学生一人一人が「文化学園大生」の名に恥じない学生であればと思い勉強しました。署名活動をしたことも、とても良い経験となりました。また、その後、平静に戻ったキャンパスで休憩時間にキャッチボールをしていた日々を思い出します。

在学中は、2005年1月9日、10日と開催されたピアノパラリンピックに出場したことがきっかけで本格的にピアノを習い、障害を持っているこの両手指、耳でどこまでいけるだろうかとチャレンジした時期でもありました。同年10月には広報活動としてカナダ・バンクーバーで演奏させていただき、また大学祭でも演奏させていただいたことは良い経験になりました。大学4年時には、同級生から障害を持っている人のリハビリとしても活用されているプールでのバイトを紹介され、バイトをしながら就職活動、演奏活動を行っていました。

私は現在、ブルデンシャル生命保険株式会社 ドライデンカスタマーセンターで働き3年目を迎えました。「まずは就職して3年頑張ってみなさい」とアドバイスをいただきました平野先生の言葉を思い出し、最近は自分と周りを見る余裕がでてきたと思います。

大学での日々、今までの人生で多くのことを学んだことが、やっと芽を出してきた感じがいたします。

社会人一年目の2007年12月には会社、同期の方々の協力もあり、ニューヨーク・カーネギーホールでの演奏を無事成功させることができました。また今年、国際障害者ピアノフェスティバル(第二回ピアノパラリンピック(カナダ・バンクーバー))に参加することができ、予選を通過、本選へと進み10位の表彰を受けました。プロの方々も参加され、演奏とお話をできたことは大変いい勉強になりました。

今後もいろいろな壁にぶつかるとはありますが、自分がレベルアップできるいい機会ですから、仕事も演奏活動も頑張っていきたいと思っています。

最後に、母校の繁栄はもとより、同窓会組織が末永いものであることをお祈りいたします。



2009 カナダ・バンクーバーにて

卒業生団体活動紹介

■東北文化学園大学作業療法学専攻卒業生会「もりもり会」

代表 **道又 顕**
(平成15年 大学・リハビリテーション学科作業療法学専攻卒業)

「もりもり会」は、東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻(OT)の卒業生で構成される有志団体です。仙台市内を主な活動拠点とし、卒業生交流・連携とともに、学術技能の向上と作業療法発展の寄与、母校の発展を目的として平成15年4月から活動を開始しています。

会員がOT専攻に限られることもあり、卒業生が共有できる日々の現場で直面している悩みや疑問に応える講演会や、臨床への活用が見込める、実技を含めた研修会を、毎回テーマを変え開催しています。平成20年度は、東北文化学園大学で千田富義先生(東北文化学園大学教授・リハビリテーション専門医)を講師として招き、「365日リハで目指すもの～新しいリハ医療体制として～」というテーマで講演会を行いました。

また、総会は毎年3月に開催しているほか、会報の発行(年2回)、ホームページ運営(随時更新)を通じて、会員への情報提供も行っています。ホームページでは、過去の会議資料の閲覧はもちろん、研修会情報を提供、参加申込を受付しているほか、会員相互のコミュニケーションツールとして「仕事編」「余暇編」の掲示板を設置し、会員に活用しています。



もりもり会ホームページ



平成22年3月13日(土)に、平成21年度総会、研修会、森山早苗教授の退職記念パーティーを開催いたします。総会、研修会、パーティーに関するお問い合わせ・参加申込は、東北文化学園大学作業療法学専攻卒業生会「もりもり会」ホームページ(<http://www.morimorikai.com>)をご覧ください。



保護者懇談会(仙台会場)

ので、毎年多くの保護者の皆様にご参加いただいております。

今年は、大学側から「卒業生の視点で、学生生活や就職活動に関する体験談を話して欲しい」との要請があり、秋田、盛岡、仙台、東京の各会場に同窓会理事が伺い、講演を行いました。

初めての試みではありましたが、卒業生の年齢が学生と近いこともあり、「子供の目線からの話を聞くことができ参考になった」「(同窓会理事のお話を伺い、子供ともっとコミュニケーションを取ろうと思った)」など、保護者の方々から好評のコメントを多くいただくことができました。今回の試みを通し、卒業生と在学生の年齢が近い、本会ならではの活動ができるこ

同窓会活動

とを実感できました。

また、平成21年度保護者懇談会(東京会場)同日、関東地区同窓会が開催されました。保護者懇談会出席のために東京へ来ていた、学長をはじめとする8名の大学教職員の先生方とのランチョンミーティングでは、近況報告や同窓会活動に関する意見交換を行い、その後、保護者懇談会全体会を挟み、懇話会を行いました。懇話会では、8月に行われた総会の報告が行われたほか、学生生活を振り返るエピソードを披露したり、会場に用意した卒業アルバムを見ながら季節の経過を懐かしんだり、いつまでも話が尽きない時間となりました。

本会では、今後も各地で地区同窓会(懇話会)を開催する予定です。卒業後、仙台を離れて活躍の皆さんのご参加をお待ちしております。地区同窓会(懇話会)開催に関するお問い合わせは、同窓会事務局までお願いいたします。(事務局)



11月役員会(情報交換会)にて



ランチョンミーティング(東京)